

令和5年度 現地検討会
―河振地すべり防止区域（群馬県甘楽町）―

主催：（公社）日本地すべり学会 関東支部
協力：群馬県西部農業事務所

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、当支部の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

関東支部では、例年、少人数による現地検討会を計画・実施しております。この度、群馬県西部農業事務所のご協力を得て「河振地すべり防止区域（群馬県甘楽町）」を対象とした現地検討会を実施致します。今回の現地検討会では、河振地すべりの概要と等防止区域で実施されている地すべり観測・対策工を見学する予定です。

関東支部会員はじめ多くの方々のご参加をお願い申し上げます。**特に学生や若手技術者の皆様のご参加も歓迎いたします。**

記

期 日：令和5年 10月26日（木）

場 所：群馬県甘楽郡甘楽町秋畑地区

案 内：群馬県西部農業事務所、日本地すべり学会（関東支部）

参加者：日本地すべり学会員および一般参加者（定員20名、先着順）

参加費：学会員・一般 2000円（前納）
学生（学生会員を含む） 無料（申込が必要）
バス、保険、資料代として

行 程：9:00 集合（高崎駅）、16:45 解散（高崎駅）

項目	時間
高崎駅集合	9:00
高崎駅出発	9:30
↓バス移動(75分)	
(途中、道の駅でトイレ休憩15分)	
現地駐車場 着	10:45
関係者による 挨拶・概要説明	10:45-11:00(15分)
現地視察(地形、地質、対策工)	11:00-12:30(90分)
↓徒歩移動(15分)	
昼食(弁当)	12:45-13:30(45分)
↓徒歩移動	(15分)
ボーリングコア観察	13:45-15:00(75分)
↓徒歩移動	(15分)
駐車場	15:15
↓バス移動(30分)	
道の駅甘楽休憩(30分)	
↓バス移動(30分)	
高崎駅着、解散	16:45

集合・解散地までの往復交通費は各自ご負担ください。
集合・解散場所から河振地すべりへの往復はバスで移動します。
現地では、舗装のない場所も歩きます。
ヘルメットは貸与します。

アクセス（参考）：

東京方面（行き）上越・北陸新幹線（東京 8:04→高崎 9:00）
（帰り）上越・北陸新幹線（高崎 17:05→東京 17:52）

その他：

当日、CPD 参加証を配布する予定です。
行程は当日の道路状況等により前後する可能性がありますのでご了承ください。

準備するもの：

- ・踏査が可能な服装（小雨決行とします）、履物、雨具等をご用意ください。
- ・昼食、昼食時飲料等は各自ご用意ください。

申し込み方法等：

1. 関東支部ホームページにアクセスし所定の申込フォームに必要事項を記入の上、参加申込みを行ってください。
関東支部ホームページ URL：<https://japan.landslide-soc.org/kanto.html>
申込期限：令和5年10月18日（水）
2. 主催者側で国内旅行傷害保険に加入します。申込書の所定欄に記載されていない場合などは、保険に加入できない場合があります。
3. 申込後、担当者あてに参加証等を担当幹事よりメールにて送付しますので、同封の請求書にしたがい事前に参加費を銀行振り込みでお支払ってください。
4. 申込の受付は先着順に行い、原則として定員になるまで受付を行います。
5. 令和5年10月20日（金）になっても、連絡がない場合には、下記のアドレスにご連絡ください。E-mail: msy.matsuda@ajiko.co.jp
6. 領収書は電子メールにて送付いたします。原本を希望される方は別途郵送にて送付させていただきますのでその旨ご連絡ください。
7. 当日欠席されても参加費は返却いたしません。

その他：

- 当日、参加者名簿（氏名・所属）・CPD 参加証を配布する予定です。
- 現地の状況、天候により、見学地および行程等は変更になります。

連絡先・問合せ先：

○現地検討会事務局：

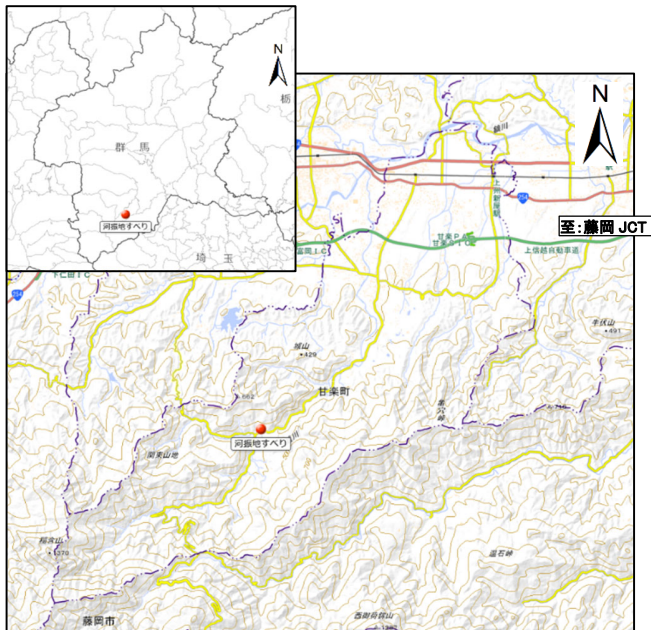
幹事：松田（アジア航測株式会社）

E-mail：msy.matsuda@ajiko.co.jp TEL：080-1396-9973

*ここに記載された連絡先は、現地検討会専用の事務局です。現地検討会ごとに事務局は変更になりますので、ご注意ください。

以上

【河振地すべりの概要】



場所: 群馬県甘楽郡甘楽町秋畑地区

所管: 群馬県西部農業事務所

(農林水産省所管)

河振地すべり防止区域(30.2ha)

群馬県南西部を流れる鏑川の支流雄川上流左岸、標高 400m~700m の南向き斜面に位置する農地地すべり防止区域です。奥行き 0.8km の大規模な地すべりで、平成 7 年から対策事業が実施されていました。

令和元年の台風 19 号により、地すべりが滑動し、末端付近を横切る県道富岡神流線と直下を流れる一級河川雄川護岸が被災し、その後、県土整備部により復旧対策が行われています。

本現地検討会では、ボーリング調査の結果や地すべり地における計器観測等の状況に加え、施工済みの対策工の見学を通し、地すべり対策の理解を深めたいと考えています。



河振地すべりの令和元年の台風 19 号による被災状況